

# 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

## 1 本年度「教育のキーワード」

- ◇ 未来を創造する生徒たち～語り合い、認め合い、支え合い～「人間関係形成能力」を育む
- ・一人一人が安心して、夢や希望を語り合える学級・学年・学校に
  - ・一人一人がお互いが認め合える学級・学年・学校に
  - ・一人一人が目標達成に向けて、学び合い、支え合える学級・学年・学校に

## 2 本年度「経営の重点」

- 1 未来を創造する生徒の育成を目指した教育課程
- 2 豊かな心の育成を目指し、厳しさの中にも温かみのある生徒支援
- 3 日常実践に根ざした学び合う研修活動の充実
- 4 教育環境の整備充実と活動実践をふまえた有効的活用
- 5 家庭や地域との有機的な連携を密にした教育の推進
- 6 教職員がやりがいを感じ、元気に教育活動に取り組むことができる働き方改革

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
①教育課程・学習指導	・指導計画、評価計画等の実施状況	A	教科指導においては、基礎基本を重視した指導の工夫と改善に努め、学習習慣定着のための指導等を行うことができた。評価等においても、引き続き、生徒の学習資料に基づき適切な評価評定に努めたい。
	・授業の工夫	A	各教科で、chromebookでの視覚的教材の活用、また、英語科でのALTとの学習等により、生徒の関心意欲を高めつつ理解定着を図るための授業に努めていきたい。
	・道徳教育及び総合的な学習の時間	A	物事のとらえ方や自分の生き方を考える機会として、学年の教員によりローテーションで道徳の授業を計画的に行ってきた。引き続き、いじめ等の問題も取り上げながら、生徒の豊かな心の育成に努めたい。
		B	コロナ禍を経て、職業体験などが実施できるようになってきたが、改めて内容検討の時期に来ていると考える。パートナー校（校区小学校）や地域との連携も踏まえ、探究的な活動の充実を図りたい。
・学習指導の工夫 (家庭学習の定着に向けて)	A	各教科担当から生徒への情報提供やアドバイスを行ってきた。家庭学習は、日頃の授業とも関連することなので、生徒一人一人の家庭学習につながるよう「楽しい」「分かる」授業の工夫に努めたい。	
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	生徒の主体的な学びにつながるようご支援いただきたい。	
A	A		
②生徒指導	・豊かな人間関係づくりや基本的な生活習慣の定着に向けた指導の状況	A	学年を中心に、全教職員で生徒の活動を見守りながら、学校生活における基本的な生活習慣の確立を目指して生徒指導を推進できた。引き続き、生徒一人一人の個性を尊重し、支え合い高め合う集団づくりに努めたい。
	・教育相談体制の整備状況	A	前期・後期2回の教育相談、QU（学級集団のアセスメント）および年3回のいじめ調査を実施してきた。いじめ防止対策委員会も月1回開催し、情報共有と生徒支援に努めてきた。引き続き、スクールカウンセラーとの面談を含め、相談活動の充実、不登校生徒の対応等に連携し取り組んでいきたい。
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	不登校生徒に寄り添うご指導をお願いしたい。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
③ 進路指導	・進路指導体制の整備状況	A	進路の学習を通して、自分自身の将来について考えさせることができた。特に3年生を中心に、進路選択に向けた情報提供を行い、生徒自身がしっかり考えることができるよう指導してきた。
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	引き続き、生徒が希望をもって進路選択ができるようご指導いただきたい。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
④ 組織運営	・学校の明確な運営と責任体制の整備状況	A	教職員の共通理解のもと、一人一人が自らの役割を果たし、学年および校務部会、特別委員会等が連携して業務を進めることができた。引き続き、組織体制のスムーズな連携に努めていきたい。
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	教職員一丸となって教育活動を進めていただきたい。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
⑧ その他	・読書の取り組み	A	朝読書は登校後の時間に、落ち着いた雰囲気の中で、取り組むことができている。学校図書館の運営についても、引き続き、蔵書および環境整備、本の貸出活動等の充実に努めていきたい。
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	取組の充実に努めていただきたい。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
⑤ 安全管理	・教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組	A	年2回、地震、火災等における避難訓練を行い、訓練の意義や災害に対する生徒の意識喚起に努めてきたが、引き続き、生徒への災害教育や教職員の危機管理意識向上に努めていきたい。
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	生徒の防災意識を高められるよう努めていただきたい。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
⑦ 施設設備	・学習、生活環境の充実	A	<p>夏季については、普通教室、特別教室等の窓式冷房機、サーキュレーター等を活用し、また、うちわやネッククーラーの持参を認めて暑さ対策に努めてきた。</p> <p>今年度、普通教室にエアコンが設置されたことにより、来年度からはより快適な学習環境を提供できる。</p>
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	エアコンの設置でより快適な学習環境になることはよかった。	
A	A		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
⑥ 保護者・地域との連携	・保護者や地域との連携の状況	A	<p>一年を通じて、授業公開、行事見学、PTA活動等により、保護者に学校の様子を見ていただくことができた。また、学校ホームページ、保護者連絡ツール等で学校からの情報、様子についてお知らせすることができた。引き続き、情報発信に努めていきたい。</p>
学校関係者評価		学校関係者評価委員による意見	
自己評価の適切さ	改善策の適切さ	学校、地域が連携して生徒の見守り等を行っていただきたい。	
A	A		